

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- 群馬県渋川市と長野県東御市を結ぶ「上信自動車道」の一部を形成する渋川西バイパス(L=1.9km)が令和7年度に開通予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- 用地進捗率は100%(令和7年3月末現在)。
- 令和5年度から立体化工事に着手。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- 場所打杭の施工にあたり1mを超える転石発生への対応に時間を要しているが、早期開通に向けて引き続き、改良工事及び橋梁上下部工事を推進。

施設の構造や工法の変更等

- 地質条件を踏まえた構造変更、転石発生への対応に伴う変更、材料単価・労務費の上昇により事業費増加。
- 橋梁上部構造を上下線で分離構造から一体構造へ見直したことで、コスト縮減を実施。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)